

イーストスプリング・ グローイング・アジア株式オープン

追加型投信／海外／株式

第16期(決算日:2015年6月22日)

作成対象期間(2014年12月23日～2015年6月22日)

第16期末(2015年6月22日)	
基準価額	10,767円
純資産総額	8,114百万円
(2014年12月23日～2015年6月22日)	
騰落率	4.0%
分配金合計	400円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・グローイング・アジア株式オープン」は、2015年6月22日に第16期の決算を行いました。

当ファンドは、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

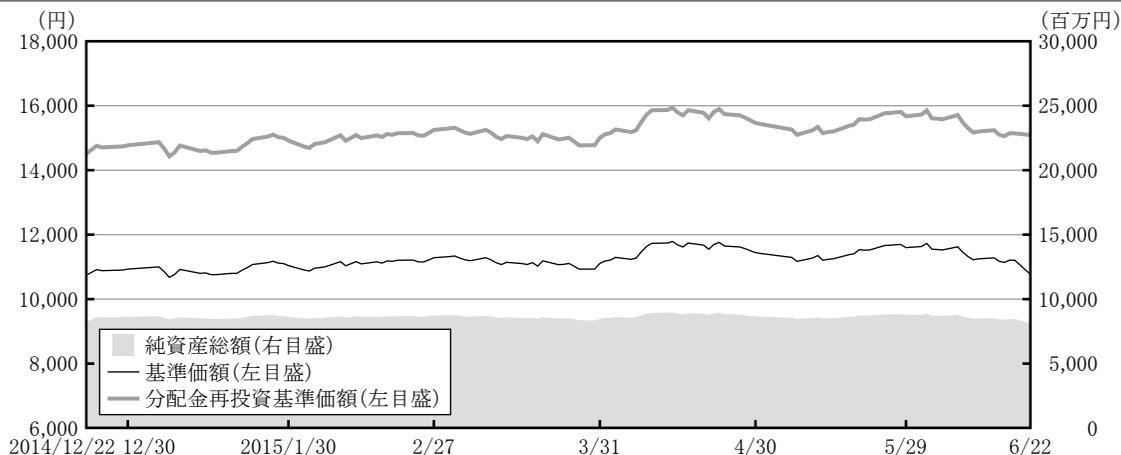
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

当期中の基準価額等の推移について(第16期:2014年12月23日から2015年6月22日まで)



第16期首	10,738円
第16期末	10,767円(既払分配金400円)
騰落率	4.0%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

為替市場が狭い値幅での落ち着いた推移となったことや2015年4月上旬までアジア株式市場が堅調だったことから、基準価額は期初から穏やかに上昇しました。しかし、その後は中国を除きほとんどのアジア株式市場で下落傾向となり、基準価額は下落しました。

5月中旬から6月初旬にかけては米国の年内利上げが意識されドル高円安の方向に傾いたため、基準価額は持ち直しの動きが見られましたが、その後は中国を始めとしてアジア株の調整色が強まり、基準価額は期末にかけて下落しました。結果として、当期における基準価額の上昇は小幅なものとなりました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2014/12/23 ～2015/6/22		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	80円	0.716%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,232円です。
(投信会社)	(36)	(0.326)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(42)	(0.374)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.019	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(1)	(0.010)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	82	0.735	

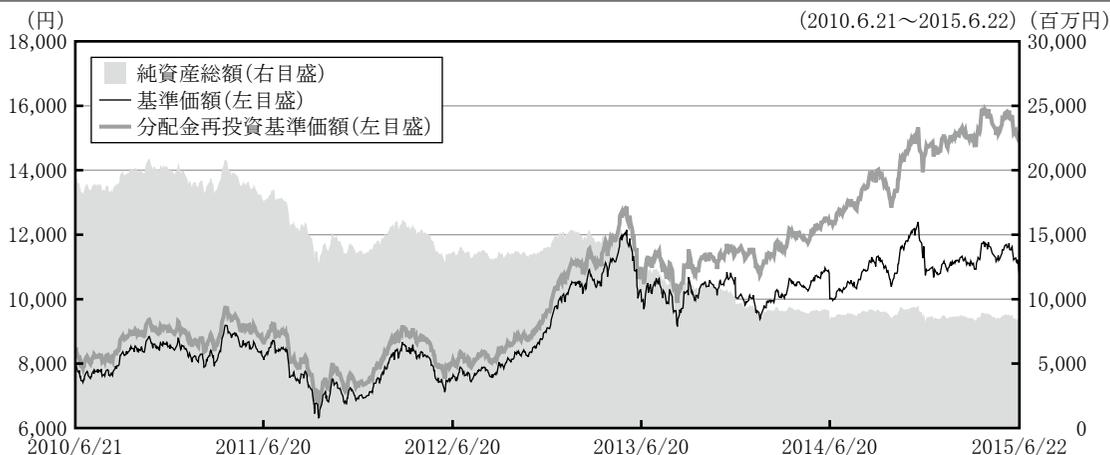
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

	2010/6/21 期首	2011/6/20 決算日	2012/6/20 決算日	2013/6/20 決算日	2014/6/20 決算日	2015/6/22 決算日
基準価額(分配落) (円)	7,791	8,173	7,568	10,180	10,011	10,767
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	200	1,400	1,400
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	4.9	△7.4	37.2	12.5	21.9
純資産総額 (百万円)	19,166	17,637	13,616	12,164	8,402	8,114

投資環境について

○海外株式市場

アジア株式市場は2015年4月上旬まで、原油価格の落ち着きやギリシャ債務問題に対する懸念の後退、ウクライナ情勢の好転、米国の利上げ先送り観測などからリスクオンの動きとなり、堅調な推移となりました。しかし、その後は中国を除く他のアジア株式市場における利益確定売りや1-3月期の企業決算に対する失望から調整色が強まり、下落傾向となりました。中国株式市場は追加金融緩和や政府の株式市場支援姿勢が好感され、6月にかけて大幅続伸となりましたが、同月中旬以降はこれまでの株価上昇に対する高値警戒感に加え、新規株式公開(IPO)による需給悪化の懸念から大幅に下落しました。

○為替市況

ドル円相場は期初から2015年5月中旬にかけて狭い値幅での推移となったものの、その後期末にかけて米国の年内利上げが意識されドル買いが活発化し、円安ドル高となりました。

アジア通貨は米国の金利先高観を背景としたドル高傾向から、総じて弱い動きとなりました。特に原油価格の下落が嫌気されたマレーシア、第1四半期の実質国内総生産(GDP)成長率が約6年ぶりの低水準となったインドネシアにおいて、通貨が大きく下落しました。一方で、株価が堅調に推移した中国は為替についても堅調となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

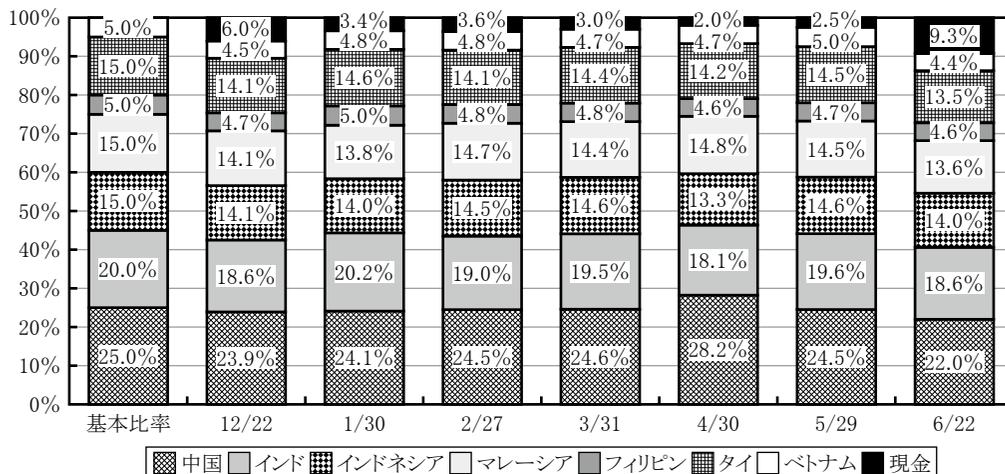
主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行いました。

○投資先ファンド

高い経済成長が続くアジア地域で、今後も特に高い成長が期待できると考えられる国々を当ファンドの実質的な主要投資対象国(中国、インド、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム)とし、ルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド(米ドル建て)への投資を通じて投資を行いました。

国別の組入れ比率については基本配分比率を概ね維持した運用を行いました。当期は景気対策への期待から株価が上昇した中国の保有がプラス要因となった一方で、第1四半期の実質国内総生産(GDP)成長率の大幅鈍化を嫌気し株価が低迷したインドネシアの保有がマイナス要因となりました。

国別投資比率の推移



(注) 国別投資比率は、各サブファンドの組入れ比率を用いています。比率は、純資産総額を100%として計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、経費控除後の配当等収益・基準価額水準等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (1万口当たり、税引前)

項目	第16期	
	2014年12月23日 ～2015年6月22日	
当期分配金 (円)		400
(対基準価額比率) (%)		3.582
当期の収益 (円)		399
当期の収益以外 (円)		0
翌期繰越分配対象額 (円)		1,245

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当ファンドは国別の組入比率を概ね基本配分と同水準に維持し、各国の個別要因によって極端に割安・割高になったと判断する局面においては機動的に組入れ比率の変更を行っていく方針です。

○投資先ファンド

米国経済は今後も雇用や所得環境の改善に支えられ回復基調が持続するものと期待されますが、米国の利上げに対する市場の反応には注意が必要であると考えています。中国株の急落やギリシャ債務問題への懸念、さらには米国の利上げ開始が強く意識される中でアジア株式は足元軟調となっています。一方で、欧州と日本では金融緩和が継続し、中国政府も景気支援の姿勢を明確にしており、引続き国際金融市場の流動性は高い水準で推移することが予想されます。原油価格も底値から反発したものの、依然として低い水準にあることから、資源の純輸入国が多いアジアではインフレ圧力の後退が経済にプラスに働くと期待されます。今後も主要国の景気動向や金利動向などを背景に、アジア株式市場では変動性が高まる局面も予想されますが、市場はアジア各国の実体経済の動向に注目していくと考えられます。主要国がけん引する世界経済の景気回復が見込まれる中、アジア地域では、輸出産業を中心に業績改善への期待が高まると見込んでいます。

お知らせ

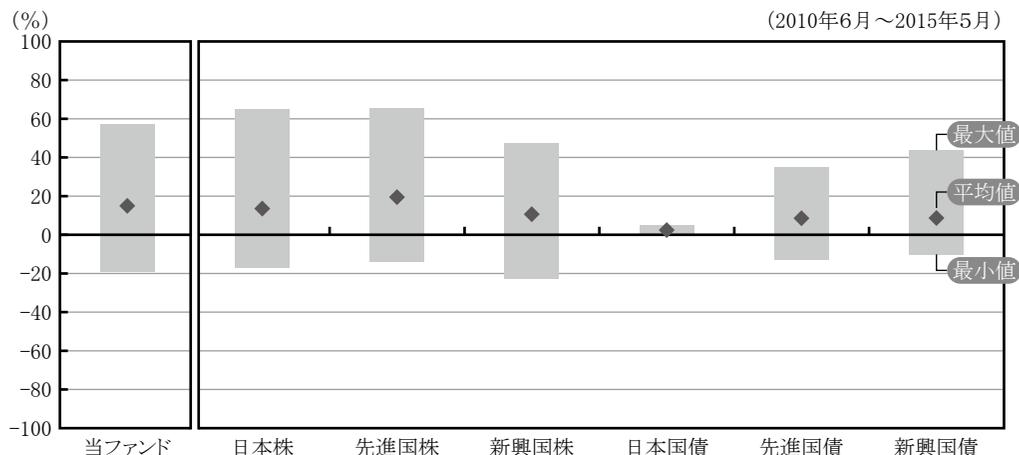
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2007年6月29日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする以下の投資信託証券に投資を行います。 イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド 投資信託証券は、今後変更される場合があります。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年6月20日および12月20日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	14.9	13.6	19.4	10.6	2.4	8.5	8.7
最大値	57.3	65.0	65.6	47.3	4.5	34.9	43.7
最小値	-18.9	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-12.7	-10.1

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2010年6月から2015年5月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債:NOMURA-BPI国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債:JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

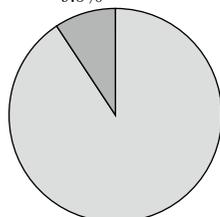
(組入銘柄数: 7銘柄)

ファンド名	第16期末 2015年6月22日
イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド	22.0%
イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド	18.6%
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド	14.0%
イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド	13.6%
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド	13.5%
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド	4.6%
イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド	4.4%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分

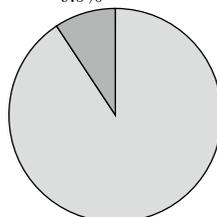
コール・ローン等、その他
9.3%



投資信託証券
90.7%

○国別配分

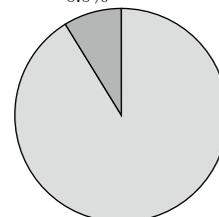
その他
9.3%



ルクセンブルグ
90.7%

○通貨別配分

日本円
8.8%



米ドル
91.2%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第16期末 2015年6月22日
純資産総額	8,114,834,019円
受益権総口数	7,536,681,322口
1万口当たり基準価額	10,767円

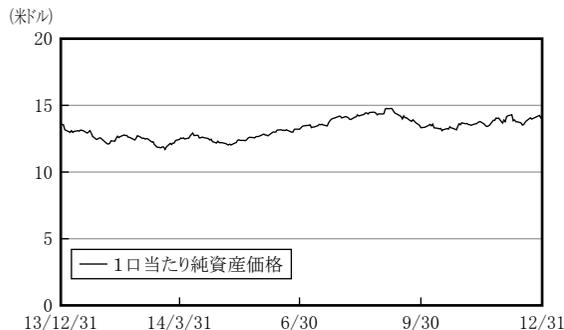
* 当期中において追加設定元本額は601,290,723円、一部解約元本額は716,070,183円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド

(計算期間 2014年1月1日～2014年12月31日)

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



○組入上位10銘柄

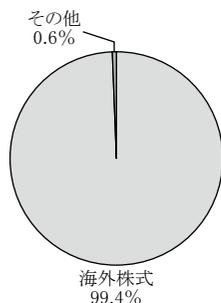
(組入銘柄数:32銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
IND & COMM BK OF CHINA	銀行	中国	9.5%
BANK OF CHINA LTD	銀行	中国	7.9%
TENCENT HOLDINGS LTD	ソフトウェア・サービス	ケイマン諸島	7.6%
CHINA MOBILE LTD	電気通信サービス	香港	6.5%
CHINA CONSTRUCTION BANK	銀行	中国	6.0%
CHINA PACIFIC INSURANCE GR	保険	中国	5.4%
CNOOC LTD	エネルギー	香港	4.7%
CHINA PETROLEUM & CHEMICAL	エネルギー	中国	4.6%
FRANSHION PROPERTIES CHINA	不動産	香港	3.8%
CHINA MERCHANTS BANK	銀行	中国	3.7%

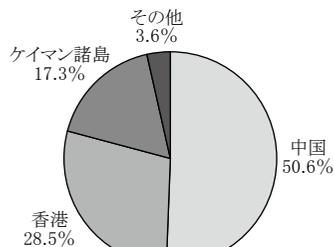
○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンドのAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

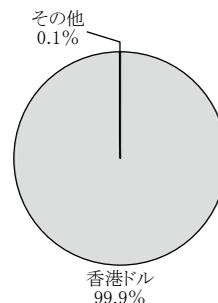
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注3) 組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は発行者の登録国・地域に基づいており、当該株式が上場されている、あるいは発行者が業務の本拠を置く国・地域とは異なる場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

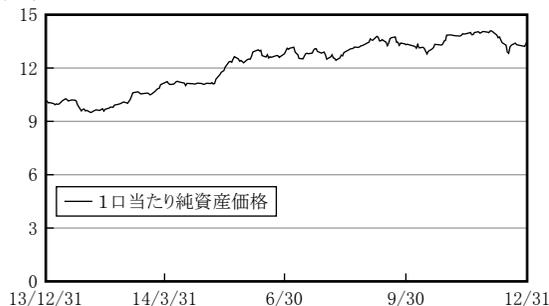
組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド

(計算期間 2014年1月1日～2014年12月31日)

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



○組入上位10銘柄

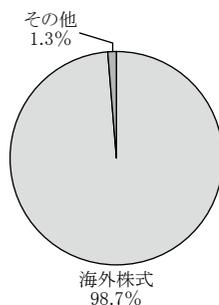
(組入銘柄数:43銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
INFOSYS LTD	ソフトウェア・サービス	インド	9.7%
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORP	銀行	インド	5.6%
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	ソフトウェア・サービス	インド	5.4%
LARSEN & TOUBRO LTD	資本財	インド	4.9%
ICICI BANK LTD	銀行	インド	4.5%
ITC LTD	食品・飲料・タバコ	インド	4.1%
TATA MOTORS LTD	自動車・自動車部品	インド	3.9%
CIPLA LTD	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	3.7%
DR. REDDY'S LABORATORIES LTD	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	3.6%
RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	インド	3.4%

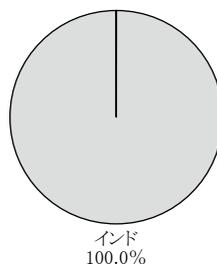
○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンドのAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

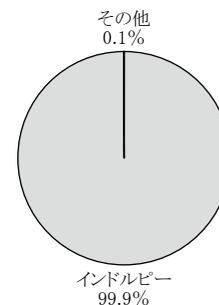
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

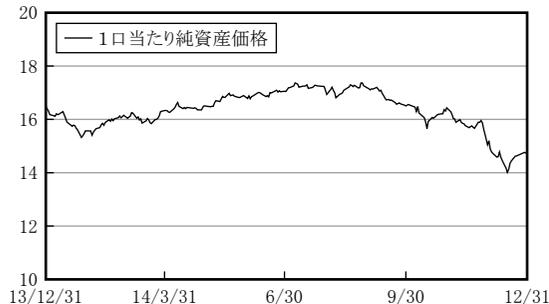
組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド

(計算期間 2014年1月1日～2014年12月31日)

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



○組入上位10銘柄

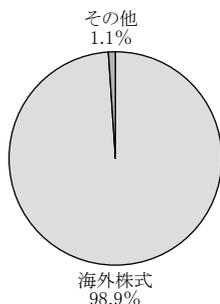
(組入銘柄数:44銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
PUBLIC BANK BHD	銀行	マレーシア	10.0%
TENAGA NASIONAL BHD	公益事業	マレーシア	8.4%
MALAYAN BANKING BHD	銀行	マレーシア	8.2%
CIMB GROUP HOLDINGS BHD	銀行	マレーシア	6.3%
SIME DARBY BHD	資本財	マレーシア	5.4%
GENTING BHD	消費者サービス	マレーシア	4.3%
AXIATA GROUP BHD	電気通信サービス	マレーシア	4.2%
GENTING MALAYSIA BHD	消費者サービス	マレーシア	3.9%
AMMB HOLDINGS BHD	銀行	マレーシア	3.6%
DIGI.COM BHD	電気通信サービス	マレーシア	3.4%

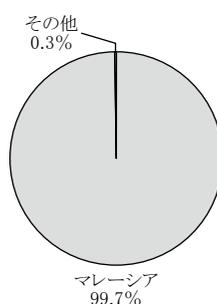
○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンドのAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

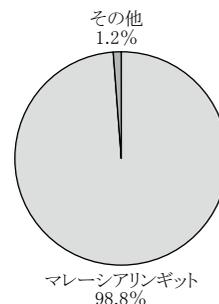
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

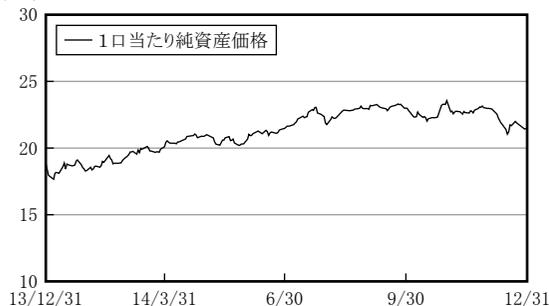
組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド

(計算期間 2014年1月1日～2014年12月31日)

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



○組入上位10銘柄

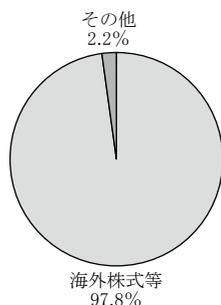
(組入銘柄数:47銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
PTT PCL-FOREIGN	エネルギー	タイ	9.4%
ADVANCED INFO SERVICE-FOR	電気通信サービス	タイ	7.4%
KASIKORN BANK PCL-FOREIGN	銀行	タイ	6.8%
SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN	銀行	タイ	6.3%
PTT EXPLORATION & PROD-FOR	エネルギー	タイ	5.9%
SIAM CEMENT PCL	素材	タイ	4.9%
AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR	運輸	タイ	4.1%
CP ALL PCL-FOREIGN	食品・生活必需品小売り	タイ	3.9%
BANGKOK BANK PCL-FOREIGN	銀行	タイ	3.8%
KRUNG THAI BANK PUB CO-FOREI	銀行	タイ	3.4%

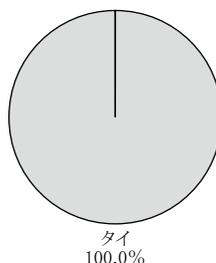
○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンドのAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

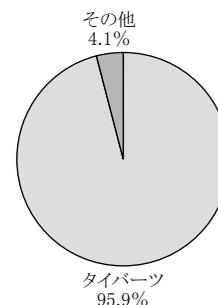
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

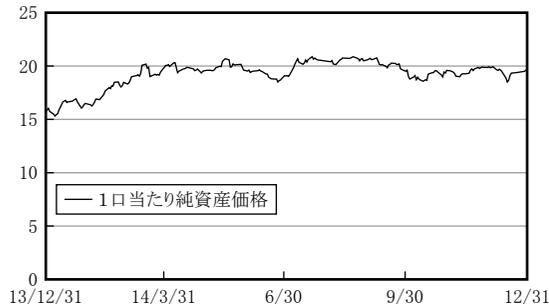
組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド

(計算期間 2014年1月1日～2014年12月31日)

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



○組入上位10銘柄

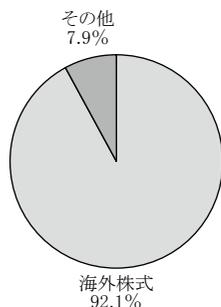
(組入銘柄数:62銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	銀行	インドネシア	7.7%
BANK MANDIRI PERSERO TBK PT	銀行	インドネシア	6.6%
ASTRA INTERNATIONAL TBK PT	自動車・自動車部品	インドネシア	6.5%
TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER	電気通信サービス	インドネシア	6.5%
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	銀行	インドネシア	6.0%
BANK NEGARA INDONESIA PERSER	銀行	インドネシア	4.1%
UNILEVER INDONESIA TBK PT	家庭用品・パーソナル用品	インドネシア	4.0%
PERUSAHAAN GAS NEGARA PERSER	公益事業	インドネシア	3.6%
GUDANG GARAM TBK PT	食品・飲料・タバコ	インドネシア	2.7%
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK	素材	インドネシア	2.2%

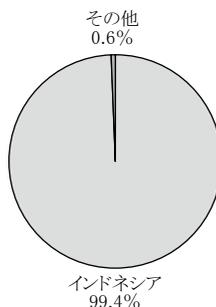
○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドのAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

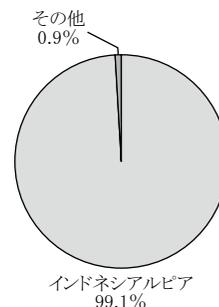
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

* その他の組入ファンドについては、運用報告書(全体版)で詳細な情報をご覧いただけます。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・ 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・ MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- ・ シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・ JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。